

2018.2.8

【ザンビア＝乾栄里子】アフリカ南部・ザンビアで心臓外科医の指導、育成に取り組むNPO法人「TICO」（吉野川市）の医療チームが6日（現地

時間）、心臓の一部に開いた穴をふさぐ心房中隔欠損（ASD）の閉鎖手術を首都ルサカの病院で行い、現地医師の執刀で初めて成功させた。

心臓の穴閉鎖手術 成功

ザンビア支援 吉野川市のNPO

患者は、左右の心房を隔てる壁に直径約2センチの穴が開いた女兒（10）。TICOの活動に協力する四国子どもとおとなの医療センター（香川県善通寺市）の江川善康医師（64）の助言を受けながら、ザンビア人のムタニン・スイワ医師（34）が執刀した。

女兒は午前9時に手術室に入り、同10時半ごろから手術を開始。開胸後、女兒の心臓と肺の機能を人工心肺装置を使って約40分間停止させ、スイワ医師が心臓を包む心膜を切り取り、穴に接ぎ当てて縫合した。

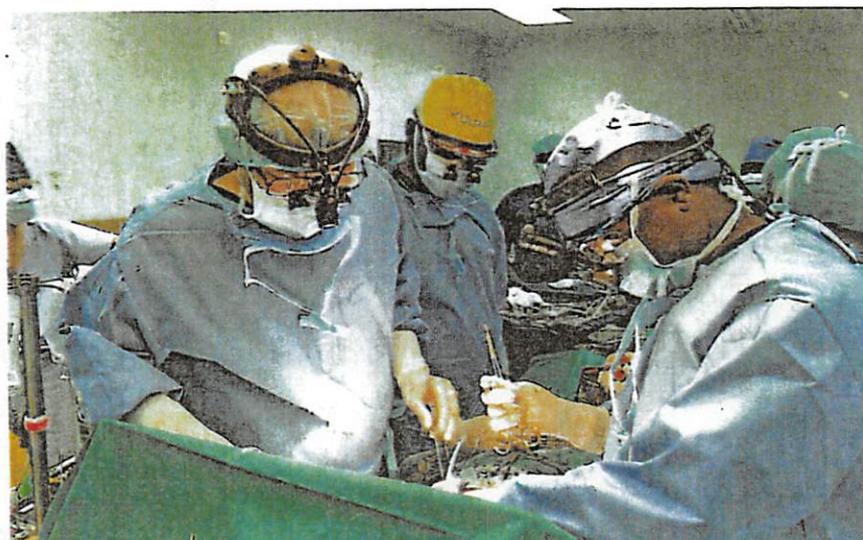
手術は麻酔などの準備時間を除き約6時間で終了。女兒の術後の経過は良好で、10日も退院できる見通しという。

現地医師の執刀で初

手術は江川、スイワ両医師とザンビア人の助手、看護師の4人が担当。TICOの松村武史医師（46）も指導役として立ち会った。日本から同行している臨床工学技士の関谷理さん（60）は横濱市が専門性の高い人工心肺装置を操作したほか、看護師の山崎恵子さん（32）は吉野川市は器材の準備や患者のケアに当たった。

スイワ医師は「まずから現地入りし、ザンビア人外科医4人の実り、8日までに3例の手術を行う。TICOは1月30日、患者1人がASDに安全な手術ができは医師4人が1例ずつ手術する予定だった」と振り返った。

「まずから現地入りし、ザンビア人外科医4人の実り、8日までに3例の手術を行う。TICOは1月30日、患者1人がASDに安全な手術ができは医師4人が1例ずつ手術する予定だった」と振り返った。



ASD閉鎖手術で執刀するスイワ医師（左）と江川医師（右）ルサカ市のザンビア大学付属教育病院